



学び合うって、ワクワク。
コラボレーションって、こんなに楽しい。
ICTで学びが変わる
はじまります。
鳥取県立高校 1人1台端末

ICT 活用教育重点校：倉吉東高校の様子

社会生活の中で ICT を日常的に活用することが当たり前の現在、これから予測不能で答えのない時代を生きていく子どもたちにとって、パソコンをはじめタブレットやスマートフォンなどはマストアイテムであり、学校においても鉛筆やノートなどの文房具と同様に必要不可欠なものとなっています。

文部科学省では、児童・生徒の1人1台端末と学校における高速大容量通信ネットワークを一体的に整備する GIGA スクール構想を推進しています。鳥取県においても令和2年度内には全ての小・中学校でこれらの ICT 環境の整備が完了する予定となっており、令和4年度には1人1台端末の学習環境を経験した子どもたちが高校に入学することとなります。

鳥取県教育委員会では、このような現状を踏まえ、今後、令和4年度の入学生（鳥取商業高校、倉吉東高校〔全日制〕及び米子東高校〔全日制〕は、令和3年度入学生から先行実施）から、指定する端末を購入（5～6万円程度を想定）していただき、1人1台端末の学習環境を実現していくこととしますので、保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

1人1台端末の活用で学びが変わる

個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

文部科学省「ICTを活用した指導方法～学びのイノベーション事業実証研究報告書より～」より

1人1台端末 Q & A

Q 購入した端末は家庭で使用できますか。

A できます。購入した端末は持ち帰って家庭学習にも活用することを想定していますが、各端末に導入している管理ツールにより一部機能が制限される場合があります。

Q すでに所有している端末を高校で活用することはできないのですか。

A 購入していただく各端末には、学校において日常的に安全に活用するため、専用の管理ツールを導入、設定して適切に管理したいと考えています。各々が異なる端末を使用すると、校内ネットワークにつながらない等、迅速な対応が困難となり学習活動に支障をきたすこと等が想定されるため、指定端末の購入に御理解と御協力をお願いします。

Q 通信費は誰が負担するのですか。

A 学校での通信費は県が負担しますが、家庭での通信費は各家庭での負担となります。家庭での活用が増えることも考えられますので、通信環境の整備に御協力をお願いします。

Q 端末を活用するにあたり、使うツール等について教えてください。

A 鳥取県教育委員会では、Google のサービスである G Suite for Education を導入し、全ての公立学校の生徒及び教職員の一人一人にアカウントを配布して活用することとしています。これにより、オンライン上で教員と課題のやり取りができたり、ワープロ、表計算、スライド等が他者とリアルタイムに共同編集できる他、Web ミーティングも可能です。その他、各学校が指定するアプリをインストールして学習に活用することもあります。

Q 経済的な事情により、端末を購入することができない場合はどうすればよいですか。

A 県民税および市町村民税所得割額非課税世帯、生活保護受給世帯に対しては、端末の貸与を予定しています。それ以外で端末の購入が困難な家庭には、鳥取県育英奨学資金の制度がありますので詳しくは、鳥取県教育委員会事務局育英奨学室（電話 0857-29-7145）にお問い合わせください。

鳥取県教育委員会事務局高等学校課
お問い合わせ 電話 0857-26-7517